

政治家と国民が対話できる場を！ 新幹線地本成田委員長の投書、新聞に掲載

7月8日付『東京新聞』に、新幹線地本成田委員長の投書が掲載されました。

政府は安保関連法案撤回という
国民の意見を受け止めよ！

政治家と対話

国会前広場を

会社員 成田 隆浩 55

(さいたま市大宮区)

六月二十四日、私は国会前にいた。安保関連法案に反対し、三万人（主催者発表）が国会を包囲する抗議行動に参加したのだ。

各野党党首クラスの人たちが、廃案、撤回へ向け闘うことを参加者に訴えた。

戦後七十年の今年こそ、戦争について国民がもう一

度考えるいい機会なのではないか。実際、国会包囲行動には老若男女、多くの国民がいた。そして、政治家が国民と直接対話する！これこそが本来の政治スタイルなのではないかと思っただ。しかし、警備当局の規制により、参加者は歩道に押し込められ、強い憤りを感じた。国会前には国民と政治家が対話する広場が必要だと感じた。そこは、与党だろうが野党だろうが、国民と自由に議論できる場であるべきだと思う。